

# 平成19年度事業報告

(自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)

## I. 事業の状況

### 1. 一般会計事業（一般会計）

#### (1) 講習会等

本年度中に行われた各種講習会

##### ① エックス線作業主任者受験準備講習会

|                        |      |                |
|------------------------|------|----------------|
| 大阪：5回（4月、6月、8月、10月、2月） | 参加人員 | 延 430 名（512 名） |
| 福岡：3回（8月、10月、2月）       | 参加人員 | 延 187 名（168 名） |
| 広島：3回（6月、10月、2月）       | 参加人員 | 延 95 名（85 名）   |
| 名古屋：3回（6月、10月、2月）      | 参加人員 | 延 141 名（134 名） |

計 14 回 開催 参加人員 延 853 名（899 名）

##### ② 第2種放射線取扱主任者受験準備講習会及び模擬講習会

|                            |      |                |
|----------------------------|------|----------------|
| 大阪：（準備講習会：7月、模擬試験講座：8月に開催） | 参加人員 | 延 145 名（160 名） |
| 福岡：（準備講習会：7月に開催）           | 参加人員 | 延 45 名（43 名）   |

計 3 回 開催 参加人員 延 190 名（203 名）

##### ③ 委託エックス線・放射線業務従事者講習会

|                  |      |              |
|------------------|------|--------------|
| 講師派遣：（岡山理科大学：4月） | 参加人員 | 延 35 名（40 名） |
|------------------|------|--------------|

#### (2) 機関誌等発刊

|         |         |                 |
|---------|---------|-----------------|
| ① 定期刊行物 | 機関誌     | E S I - N E W S |
| 年 6 回発行 | 毎回 B5 版 | 30P 以上 1800 部   |

## 2. 部会活動

### (1) 放射線安全部会

#### ①第1種放射線取扱主任者試験通信教育講座

放射線取扱主任者試験の受験者に対し、定期的に演習問題を送付して受験勉強のサポートをするシステムに変更して実施。

・実施期間：平成19年2月～7月                      応募人員：48名

### (2)放射線測定部会

#### ①本年度の保健物理セミナーは、平成19年11月12日～13日の2日間に渡り、

[保物セミナー2007]として

- 1) 危機管理体制      2) 倫理・隠蔽・改ざん問題      3) 電磁界に対する健康影響  
4) 原子力分野に於ける人材育成      5) 線量概念と測定の最前線

をテーマに行った。

・セミナー会場：大阪科学技術センター                      参加人員：延209名(219名)

#### ②原子力安全基盤調査研究としては「人の感性を取り入れたリスクコミュニケーションの構築」について応募したが不採択となった。

### (3)非破壊検査部会

#### ①UT入門コース講習会

共催 (社) 日本非破壊検査協会関西支部

(社) 日本非破壊検査工業会関西支部

計画変更に伴い、講習会は実施しなかった。

②自然欠陥付試験片（R T・U T・M T・P T）の貸出業務を（社）日本非破壊

検査協会関西支部より委託事業継続した。

③研究発表会

本年度の研究発表会は 8 月 24 日に開催された。

非破壊検査に関する研究発表として 11 件の一般講演があった。

特別講演としては

- ・ 大阪大学大学院 阪上隆英氏

「赤外線サーモグラフィによる非破壊評価・モニタリング技術の現状と展望」

- ・ ポニー工業(株) 横野泰和氏

「フェーズドアレイ UT の適用事例と標準化の動向」

のテーマで特別講演が行われた。 参加者： 60 名

共催団体： （社）日本非破壊検査協会関西支部  
（社）日本非破壊検査工業会関西支部  
（財）電子科学研究所非破壊検査部会

(4)設備検査部会

①「PD研修センター」としての活動

- ・ 予算額 500 万円に対して実績額は 460 万円であった。
- ・ 更新研修 5 名に対して 4 名、PD 受験前研修としては 12 名実施  
但し、再受験研修については実績が残せなかった。
- ・ 本年度の PD 試験は 7 月、2 月の 2 回のみ実施された。
- ・ PD 試験の時期が不透明であり、試験内容の難しさもあり、再受験に対する研修の受講者がなかった。

- ・PD 受験のための研修については個人の技量と習熟度に合わせ複数回実施する方法であり、基盤事業としての目処がついた。
- ・更新研修については積極的な募集効果によりほぼ計画を達成できたが、今後複数人の更新者に毎年実施するため、試験片の追加製作が検討課題となる。

#### (5)安心科学アカデミー部会

①原子力・放射線の安全と安心に関する勉強会を開催（3回開催）

②「保健物理研究調査」

放射線防護基準の変遷に関する調査を行った。

#### (6)放射線安全管理センター

① 文部科学大臣登録資格講習機関

- ・文部科学大臣が放射線取扱主任者免状を交付するために行う登録講習機関となり、講習を行う予定であった。
- ・登録申請及び業務規程の認可に手間取り、平成20年1月に登録が完了したが、業務規程の認可が平成20年4月になり、本年度の講習は行う事ができなかった。

② 文部科学大臣登録定期講習機関

放射線取扱主任者の資質向上を図るための定期講習は下記の通り実施した。

第1回目（大阪6月：51名）      第2回目（福岡7月：39名）

第3回目（名古屋9月：56名）      第4回目（大阪11月：35名）

第5回目（福岡1月：27名）      第6回目（名古屋3月：28名）

計 6回（7回）開催      延 236名（428名）

### 3. 特別会計（収益事業）

#### (1) 刊行図書関係

- ① X線作業主任者講習会テキストの編集委員会の開催
- ② X線作業主任者講習会テキスト実施内容等の検討

#### (2) その他図書の取次販売

(3) 各種受験願書の取次等を実施した。

### 4. その他団体との共催・協賛等については

- (1) 第24回みんなのくらしと放射線展  
平成19年8月14日～19日  
主催：「みんなのくらしと放射線」  
知識普及実行委員会  
(於：扇町キッスパーク)
- (2) 第17回放射線利用総合シンポジウム（後援）  
平成20年1月22日  
主催：(社)大阪ニュークリアサイエンス協会  
(於：大阪大学中之島センター)
- (3) 第15回超音波による非破壊評価シンポジウム（協賛）  
平成20年1月23日～24日  
主催：(社)日本非破壊検査協会  
(於：きゅりあん)
- (4) 第6回放射線による非破壊評価シンポジウム（協賛）  
平成20年1月23日～2月1日  
主催：(社)日本非破壊検査協会  
(於：機械振興会館)
- (5) 表面探傷・保守検査合同シンポジウム（協賛）  
平成20年3月6日～7日  
主催：(社)日本非破壊検査協会  
(於：東京都中小企業振興公社)